
会 告

総会決議事項のご通知

さる10月18日、名古屋市千種区不老町名古屋大学経済学部において開催されました本会臨時総会で、下記の通り定款の一部変更が満場一致をもつて議決せられましたので、ここにご通知いたします。

記

定款中一部変更の件

社団法人日本鉄鋼協会定款中次の通り一部変更する。

1. 第2条（事務所に関する規定）中「東京都中央区宝町2丁目4番地」とあるを「東京都千代田区丸の内1丁目1番地」に変える。
2. 第11条（正会員会費に関する規定）中「年会費1,500円」とあるを「年会費2,000円」に変える。
3. 第12条（学生会員会費に関する規定）中「年会費1,000円」とあるを「年会費1,200円」に変える。
4. 第13条（外国会員会費に関する規定）中「年会費2,880円」とあるを「年会費3,600円」に変える。
5. 付則に次の一項を加える。

第11条、第12条および第13条の変更定款は、昭和39年1月1日から適用する。

「鉄と鋼」臨時増刊号帯鋼分科会報告の刊行について

本会では共同研究会の各部会の成果を「鉄と鋼」臨時増刊号として発行しておりますが、本年は8月下旬に製鉄部会報告書「製鉄技術の進歩」を第49年第9号臨時増刊号として発行したのにつづきまして、鋼材部会帯鋼分科会報告書を「鉄と鋼」第49年第13号臨時増刊号として刊行いたすこととなりました。

本報告書は帯鋼分科会が昭和30年に発足して以来7年の研究成果を編集したもので、Ⅰ．総説、Ⅱ．年間能力および工場配置、Ⅲ．加熱、Ⅳ．圧延、Ⅴ．精整、Ⅵ．付帯設備、Ⅶ．管理、Ⅷ．検査、Ⅷ．実験と調査、Ⅹ．作業状況、Ⅺ．参考文献の各章からなり、わが国における帯鋼工場の設備、技術の現状を示す貴重な資料であります。本会会員には無償配布いたしますが、会員外の方々にも参考となることも多いと思われまますので、ご希望の方は鉄鋼協会宛分譲申込みされるようご勧誘下さい。

定価 500円、送料 30円（申込みの際費用添付のこと）

申込先 東京都千代田区丸の内1-1 日本交通公社ビル

日 本 鉄 鋼 協 会

製鉄部会報告書別冊

『各製鉄所における製鉄設備の展望』発行について

さきに「鉄と鋼」第49年第9号臨時増刊号として、共同研究会製鉄部会報告書「製鉄技術の進歩」を発行、会員全員に無償配付いたしましたが、同報告書に関連して、昭和37年10月1日現在の各製鉄所における製鉄設備の全般にわたり、工場配置図、設備諸元表、フロシート、稼働状況、一覧表を内容とした、わが国における製鉄設備の現状が把握できる貴重な資料を収録、また製鉄部会で決定した高炉作業月報様式および記載方法を付記した標記資料篇を編集発行いたしました。

これは「鉄と鋼」第49年第6号会告にてご案内いたしましたが、多少残部がありますので、ご希望の方は料金同封のうえお申込み下さい。

記

- 頒 価** 1部 1000円 (送料とも) B5版 254ページ
- 申込方法** 「製鉄別冊」と明記のうえ、代金を添えてお申込み下さい。
(現金書留、定額小為替、振替いずれでも結構です)
- 申 込 先** 東京都千代田区丸の内1の1 日本交通公社ビル 日本鉄鋼協会

計算制御の実状と問題点に関するシンポジウム 開催のお知らせ

本会では計測自動制御学会、日本機械学会と共催で、標記シンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムは、計算制御が考えられてから今日、ようやく実用化の段階に入りつつありますが、わが国工業の現実面で実際の計画、設計、保守、運転、をとおして、その限界、有効性、故障率および問題点などを具体的に論ずべきときと思います。

計算制御の内容は対象のプロセスにより異なってくるので、本シンポジウムではプロセスを大別してそれぞれの専門分野の経験者からその実状と問題点について講演および討論としていただき、今後の健全な発展に役立たせようとするものであります。

この方面に関心のある会員には下記プログラムをご覧のうえ奮ってご参加下さるようご案内いたします。

記

- と き** 昭和39年1月28日(火) 9:25~16:30
- 場 所** 全う連会館大講堂 東京都文京区湯島三組町74 電話(831)6824
- 定 員** 200名(先着順)
- 聴 講 料** 200円
- 申込方法** 「はがき」大の用紙に「計算制御シンポジウム」と題記、氏名、勤務先(名称、所属部課名、所在地、電話)、住所(電話)、連絡先、所属学会名を明記のうえ、聴講料を添え申込むこと。
- 申 込 先** 東京都港区芝琴平町20 計測会館
計測自動制御学会 電話東京(501)1917、振替口座127,863番

プ ロ グ ラ ム

時間	題 目	講師およびメンバ(敬称略)
9:25	開 会 の 辞	東京大学工学部 菅 野 猛
9:30	1) プロセス計算制御について	東京大学生産技術研究所 沢 井 善三郎
10:00	2) セメント工業における計算制御	秩父セメント株式会社 中 川 東一郎
10:50	3) 鉄鋼工業における計算制御	日本鋼管株式会社 中 村 昌 平
	3・1 製鉄・製鋼	
	屋 休 み (1時間)	
12:40	3・2 圧 延	川崎製鉄株式会社 大 島 真
13:30	3・3 集 中 管 理	富士製鉄株式会社 吉 谷 豊
14:20	4) 自動車工業における計算制御	東洋工業株式会社 山 崎 芳 樹
	休 憩 (10分)	
15:20	5) 討 論 会	座長 菅野 猛、メンバ各講師、司会者 寺野 寿郎
16:30	閉 会 の 辞	東京工業大学理工学部 寺野 寿郎

日本鉄鋼協会第 67 回 春季講演大会講演募集

すでに第11号会告においてご案内いたしましたが、来春4月に開催予定の第67回講演大会において講演ご希望の方は、下記要領お含みのうえお申込み下さい。

- (1) 講演申込締切 昭和38年11月30日(土) 期日厳守のこと。
- (2) 講演申込先 東京都千代田区丸ノ内 1-1 交通公社ビル
日本鉄鋼協会
- (3) 申込用紙 添付の申込用紙に必要事項記入のうえ切り取つて原稿同封のうえご送付下さい。(原稿が添付されていない申込み、電話・電報による申込みは理由の如何にかかわらず受付けません)
- (4) 講演論文原稿 講演時間は20分以内、講演論文原稿は図・写真・表を含め8枚以上16枚まで、図・写真は5コ以内とします。その他は会告N65~N73ページに掲載してあります投稿規程に従つてご執筆下さい。

なお投稿規程の改訂がありましたのでご注意ください。

- (5) この講演論文原稿は会誌「鉄と鋼」昭和39年3月号「第67回講演大会講演論文集」として刊行いたしますので、編集および印刷の都合上締切後は受付いたしませんから、原稿は期日までに必ずご送付願います。
- (6) 講演される方は会員に限りますので、会員外の方で講演希望の方は入会の手続終了後お申込み下さい。
- (7) 講演会場における講演用図表寸法は横1,200mm以内、および図表掲示場所は2カ所以内といたします。
- (8) 講演会場における幻灯用フィルムは35mm版に限ります。
- (9) 協会所定の原稿用紙は1冊30枚綴り30円、送料は下記の通りです。

1部 20円	4部 80円
2部 40円	5部 90円
3部 60円	6部 100円

切取り線

* 受付番号	和 文	英 文	講 演 題 目 (寄稿規程第6項参照)	幻 燈 映 写 機 要 否	勤 務 先	学 位 号	氏 名 (講演者〇印)
	講演者(ローマ字)氏名						

講演大会講演申込用紙 *印協会事務局で記入